

## フルオレセインアミン標識コンドロイチン硫酸 C ナトリウム (Shark Cartilage)

製品コード : FACS-C2(ShC)1

表示量 : 1mg/vial

性状 : 黄色ないし橙色の非晶質性の塊又は粉末 (凍結乾燥物)

コンドロイチン硫酸 C ナトリウムの由来 : Shark Cartilage

蛍光基 : フルオレセインアミン

蛍光基の CAS 番号 : 3326-34-9

製品概要 : コンドロイチン硫酸 (CS) は N-アセチル-D-ガラクトサミン (GalNAc) と D-グルクロン酸 (GlcUA) の繰り返し二糖単位からなる硫酸化グリコサミノグリカンです。CS はプロテオグリカンのタンパク質コアに共有結合した、分岐していない多糖鎖として軟骨中に豊富に存在しています。

フルオレセインアミン標識コンドロイチン硫酸 C ナトリウム (FACS-C) は、Ogamo ら<sup>1)</sup>の方法に従って、サメ軟骨由来の CS-C を蛍光標識することにより調製されています。原料の CS-C は、GalNAc の 6 位に硫酸化水酸基を持つ二糖単位 (C 構造単位) を約 70% 含みます。フルオレセインアミン (FA) 分子は、CS-C 中の GlcUA のカルボキシル基に化学結合しています。FA は導入後に強い蛍光体になりますが、FA 自体の蛍光は弱い (導入後の約 1/150) ので、遊離した FA は大きな影響を与えません。

本品は 1 バイアル当たり 1mg の凍結乾燥した FACS-C を含みます。励起波長は 485-500nm、蛍光波長は 510-525nm です。同封の Certification of Analysis には製品規格の実測値が記載されています。

取扱上の注意 :

- 1) 吸湿性です。湿気を避けて -20°C 以下で保存して下さい。
- 2) 溶解後は遮光して -20°C 以下に保存してください。予想される使用量に応じて分注し、保存することをお勧めします。
- 3) 取扱に際してはできるだけ光を避けて下さい。強い光を避ければ、室温で操作可能です。
- 4) **蛍光強度は溶液の pH で変化し、酸性では蛍光が弱まります。** 蛍光強度を測定する際は溶液の pH に注意して下さい。
- 5) 本品は研究用試薬であり、診断又は治療を目的として使用することはできません。

文献 :

- 1) Ogamo, A., et al.: Carbohydr. Res., 105, 69 (1982)